



三浦市議会だより

第 112 号
 平成25年(2013年)9月1日
 編集：議会だより編集委員会
 発行：三浦市議会
 〒238-0298
 神奈川県三浦市城山町1番1号
 ☎ 046(882)1111内線462・463

第2回定例会

二町谷埋立地の売却について可決 議会の新体制決まる



7月24日、『三浦市子どもの船』に小・中学生36名が乗船!! 沖合では観測実習を行いました
 (写真：神奈川県立海洋科学高等学校 実習船『湘南丸』)

定例会の経過と概要

月日	曜日	会議名	内容
7月10日	水	本会議	会期の決定、議席の一部変更、議長の辞職、議長選挙、副議長の辞職、副議長選挙、常任委員の所属変更、議会運営委員の選任、財政問題等特別委員の定数変更及び選任、議案の審議(説明・委員会付託)
		総務経済常任委員会	議案の審査
		本会議	議案の審議(総務経済委員長報告・採決)
11日	木	本会議	一般質問
12日	金	本会議	一般質問
16日	火	本会議	一般質問、議案の審議(説明・委員会付託)、決算審査特別委員会の設置並びに委員及び正副委員長の選任
		決算審査特別委員会	議案の審査
17日	水	総務経済常任委員会	議案・陳情の審査
18日	木	都市厚生常任委員会	議案・陳情の審査
19日	金	財政問題等特別委員会	三浦市の財政問題等に関する審査
23日	火	本会議	議案の審議(総務経済・都市厚生の各委員長報告・採決)、意見書案、人事案件(副市長)、閉会中継続審査申し出、報告

平成二十五年第二回定例会は、七月十日から二十三日までの十四日間を会期として開かれ、初日の本会議では正副議長の改選や、常任委員の所属変更などが行われました。
 今定例会においては、二町谷地区分譲地の土地の売却に係る議案など、十四議案の審議を行いました。
 また、最終日には、二件の意見書を可決し、それぞれ関係機関に送付しました

〈議会だより第112号の内容〉

定例会の経過と概要	1面
正副議長就任あいさつ	1面
常任委員会の審査	2面
陳情	2面
議会基本条例策定等特別委員会	3面
一般質問	3～6面
可決した意見書	7面
決算審査特別委員会	7面
議会の活動から	7面
人事	7面
神奈川県市議会議長会	7面
議会の構成	8面
議員表彰	8面
議案等の審議結果	8面
次回定例会の予定	8面

今後とも、市民の皆様への期待に応えられるよう努力してまいりますので、ご支援、ご協力をお願い申し上げます。

さて、我が国の経済状況は、株価の上昇や個人消費の拡大などで、緩やかな回復傾向にあるものの、本市においては、人口の減少や地価の下落などの影響により、依然として厳しい経済状況にあります。

このような中、市議会では、議会の重要性を再認識するとともに、市民の皆様から意見を聞き、一緒に考える、「市民に開かれた、市民のための議会」を目指して、議会基本条例の制定に向けた検討を重ねております。

市民の皆様には、日頃から市議会に対するご理解とご協力を賜り、心より感謝申し上げます。
 私たちは、去る七月の定例会におきまして、議長並びに副議長に就任いたしました。



松原敬司副議長



岩野匡史議長

正副議長
就任のあいさつ

常任委員会

議案の審査概要

総務経済

七月十日の審査

◎財産の処分について

本案は、二町谷地区分譲地のうち、四万四千三百四十一・五八平米を二十億一千五百三十二万円で売却することについて、議会の議決を求めるものです。

(質疑の主な項目)

- ・契約の相手方が二町谷地区で行う事業の内容について
- ・二町谷地区での事業展開による市内への波及効果について
- ・土地売却価格の算定根拠と、価格決定までの経過について
- ・契約の成立から売買代金の納入までに置かれた期間について

七月十七日の審査

◎専決処分の承認を求め

ことにについて
 本案は、市長、副市長及び教育長の給料月額と期末手当の減額を行うため、三浦市特別職の職員の給与及び旅費に関する条例等の一部改正について、専決処分したものです。
 (質疑の主な項目)
 ・減額前と減額後の市長等の給料月額について

◎専決処分の承認を求め

ことにについて
 本案は、緊急風しん対策予防接種事業に係る予算について、専決処分したものです。

(質疑の主な項目)

- ・今回計上した予算で対応する予防接種の件数について
- ・三浦市内の風疹の発生状況について

◎三浦市企業等立地促進

条例の一部を改正する条例

都市厚生

◎専決処分の承認を求め

ことにについて
 本案は、国民健康保険の特定継続世帯に対する国保税の軽減措置の延長等を行うため、三浦市国民健康保険条例の一部改正について、専決処分したものです。

(質疑の主な項目)

- ・国保税の軽減を受けている世帯数について
- ・軽減措置の延長に伴う財源負担について

◎三浦市子ども・子育て

会議条例

本案は、三浦市子ども・子育て会議の組織及び運営について、必要な事項を定めるものです。
 (質疑の主な項目)

本案は、本市での企業立地の促進等を図るため、新たに雇用奨励金の交付制度を設けるほか、規定の整備を行うものです。

(質疑の主な項目)

- ・奨励金の対象となる新規雇用が生じる見込みについて
- ・雇用奨励金を交付することでの市財政への影響について

◎平成二十五年度三浦市

一般会計補正予算(第二号)

本補正は、歳入歳出それぞれ一千五百七十七万一千円を追加し、歳入歳出予算の総額を百五十八億三千四百八十四万九千円とするものです。

(質疑の主な項目)

- ・子ども・子育て会議の委員構成等について
- ・保育に対する市の姿勢について

◎三浦市新型インフルエンザ

等対策本部条例

本案は、三浦市新型インフルエンザ等対策本部の組織及び運営について必要な事項を定めるほか、関係する条例の整備を行うものです。

(質疑の主な項目)

- ・新型インフルエンザ等の定義について
- ・緊急事態派遣手当の支給額について

◎三浦市病院事業の設置

等に関する条例の一部を改正する条例

本案は、市立病院が新たに介護保険事業を行うため、病院の任務等に係る規定を改正するほか、

とするものです。

(質疑の主な項目)

- ・火葬場の老朽化への対応について
- ・消防指令車等の整備が補正予算での対応となった理由について

◎平成二十五年度三浦市

第三セクター等改革推進

債償還事業特別会計補正予算(第一号)
 本補正は、歳入歳出それぞれ一千二百五十三万六千円を追加し、歳入歳出予算の総額を二十二億三千三百四十一万四千円とするものです。

(質疑の主な項目)

- ・土地貸付収入の内訳について
- ・当該事業の費用の徴収について、関係する条例の整備を行うものです。

(質疑の主な項目)

- ・居宅介護サービス等の事業展開について
- ・介護保険事業の実施による病院経営上の効果について

◎平成二十五年度三浦市

病院事業会計補正予算(第一号)

本補正は、債務負担行為として全身用コンピュータ断層撮影装置(CT)ほか保守業務五千五百万円を設定するものです。

(質疑の主な項目)

- ・CTの保守業務にかかる費用について



新たに提出された陳情

◎神奈川県最低賃金改定等についての陳情

趣旨 本陳情は、二〇一三年神奈川県最低賃金の改定に際して、生活保護との乖離解消を実現すること、及び特定(産業別)最低賃金の改定の際は、関係労使の主張を最大限尊重した審議を行うことについて、国に意見書を提出することを求めています。

◎少人数学級推進等の定数改善と義務教育費国庫負担制度二分の一復元をはかるための二〇一四年度政府予算に係る要請についての陳情

趣旨 本陳情は、少人数学級を推進すること、教育の機会均等及び水準の維持向上をはかるため、義務教育費国庫負担制度の国負担割合を二分の一に復元することについて、国に意見書を提出することを求めています。

常任委員会での陳情の審査結果

7月定例会では、新たに提出された陳情及び継続審査中の陳情、あわせて4件を審査しました。

今回、結果が出た陳情は次のとおりです。

そのほかの2件は、引き続き審査を行っていきます。

所管委員会	件名	結果
総務経済	神奈川県最低賃金改定等についての陳情	了承できるもの
都市厚生	少人数学級推進等の定数改善と義務教育費国庫負担制度二分の一復元をはかるための2014年度政府予算に係る要請についての陳情	了承できるもの

請願書・陳情書の提出方法

(請願書の表紙)

〇〇〇〇についての請願書

紹介議員 〇〇〇〇 印
 〇〇〇〇 印
 (署名または記名押印)

(請願書・陳情書の本文)

〇〇〇〇についての請願(陳情)書

請願(陳情)の趣旨
 請願(陳情)の理由

平成 年 月 日
 三浦市議会議長 様

住所 〇〇〇〇 印
 氏名 〇〇〇〇
 (法人の場合は名称、代表者氏名)

- ☆請願書・陳情書は、どなたでも提出することができます。
- ☆請願は、一人以上の紹介議員が必要となりますが、陳情は紹介議員の必要はありません。
- ☆書式等は、整理の都合上、次の例にならってください。
- ・用紙はA4版を使用し、横書きとしてください。
- ・趣旨は簡条書きにするなど簡潔明瞭に書いてください。
- ・内容が幾つかにわたる場合(道路問題と学校問題など)は、内容ごとに別の請願(陳情)としてください。
- ・請願(陳情)者が複数の場合は、代表者を決めてください。
- ・署名簿がある場合は添付してください。(コピーは不可。請願書への署名者は押印が必要です)
- ☆請願(陳情)者は、希望する場合、委員会に出席して趣旨説明をすることができます。
- ☆請願・陳情は、市議会定例会で審査されます。提出期限は議会日より、ホームページでご確認ください。
- ☆請願(陳情)者の氏名などは、会議録等で一般に公開されますので、あらかじめご了承ください。
- ☆詳しくは議会事務局までお問い合わせください。

(電話)八八二一―一
 内線四六二・四六三

議会基本条例策定等 特別委員会 審査の概要

四月から八月までに七回の委員会を開催し、その中で交わされた議論や決定したことは、主に次のとおりです。

また、七月十九日には、議員を対象に、条例素案の説明会を行いました。

四月十五日の審査

○議会と行政

- ・一般質問の発言通告書は、詳細な記載に努めることとする。
- ・市の提出する予算・決算の資料は、議会報告会でも活用できるように、内容の充実を求めたい。

四月二十二日の審査

○議会と行政

- ・前回、提案のあった予算・決算の資料は、後日、サンプルの提示を受けた。
- 議会及び議会事務局の体制整備、条例の検証等
- ・議会図書室の管理については、別に規程を設けることとする。
- ・議会基本条例に関する議員研修は、一般選挙と補欠選挙の後に行う。

五月十四日、二十七日、六月十日、二十四日の審査

○条例素案(全文、解説)及び運用基準について

- ・前文に、市民の権利の尊重に関する追

加する。

- ・「二元代表制」や「最高規範」には用語解説をつける。
- ・条文の解説は、項ごとに作成する。
- ・議員研修についての規定を設ける。
- ・条例見直しの手続を追加して規定する。

八月五日の審査

- 議員への説明会では出された意見について、それぞれ内容を確認し、具体的なことは運用基準で定めたい。
- 市民意見の募集について

議員への説明会

- ・条例素案について委員から説明を行い、参加議員からは、本会議での一問一答方式や市長の反問の導入、議会報告会の実施などについて質疑・意見がありました。
- また、ユーストリームによる議会中継を委員会から提案し、本件は後日、各派代表者会議で、三浦市議会として実施を目指すことが確認されました。

市民説明会について

- ・市民説明会について、会場は一カ所としたい。
- ・市民への周知は、広報紙「三浦市民」やウェブサイトの掲載、チラシの全戸配布などにより行いたい。
- 市民説明会について
- ・次期委員会は、第三回定例会中の予定です。ぜひ傍聴にお越しください。

◆三浦市議会基本条例(素案)に関する「市民意見の募集」と「市民説明会」を行います

市民意見の募集

10月1日～31日

意見の提出方法は、メール、郵送、持参など

市民説明会

10月24日(木)午後7時～

三浦市青少年会館(城山町6-9)1階ホール

詳しくは、三浦市公式ホームページの「三浦市議会」ページ、チラシ等でお知らせします。

一般質問 ～質問と答弁の要旨～

一般質問とは、市政全般にわたって報告や説明を求めたり、疑問をたずねることをいいます。今定例会では、14人の議員が市政運営について市側の考えをたずねました。

防災・減災対策

通学路の安全確保、市立病院

公明党 藤田 昇

今後この方向は変えずに確実に地域の防災力を向上させることが、減災への

認を行うとともに、三崎警察署によるパトロールの強化をしていただく等の体制をとっている。

【総病院長】新システムの効果としては、医療の安全性の向上、医療効率の向上、医療収益への貢献が挙げられる。

【質問】東日本大震災の発生から二年四カ月が経過した。時の経過に伴い、震災の記憶が薄らいできているのではないかと危惧している。

【質問】先日、東京都練馬区で児童が男に切りつけられる事件が発生した。

【質問】三浦市立病院では、今年度、電子カルテを初めとする新たな病院業務医療情報システムを導入するが、どのよう

【市長】震災の記憶を風化させず、教訓となるように、津波避難訓練など、地域防災力の向上のために取り組んでいる。

【市長】震災の記憶を風化させず、教訓となるように、津波避難訓練など、地域防災力の向上のために取り組んでいる。

【市長】震災の記憶を風化させず、教訓となるように、津波避難訓練など、地域防災力の向上のために取り組んでいる。

【市長】震災の記憶を風化させず、教訓となるように、津波避難訓練など、地域防災力の向上のために取り組んでいる。

【市長】震災の記憶を風化させず、教訓となるように、津波避難訓練など、地域防災力の向上のために取り組んでいる。

【市長】震災の記憶を風化させず、教訓となるように、津波避難訓練など、地域防災力の向上のために取り組んでいる。

【市長】震災の記憶を風化させず、教訓となるように、津波避難訓練など、地域防災力の向上のために取り組んでいる。

【市長】震災の記憶を風化させず、教訓となるように、津波避難訓練など、地域防災力の向上のために取り組んでいる。

【市長】震災の記憶を風化させず、教訓となるように、津波避難訓練など、地域防災力の向上のために取り組んでいる。

【市長】震災の記憶を風化させず、教訓となるように、津波避難訓練など、地域防災力の向上のために取り組んでいる。

【市長】震災の記憶を風化させず、教訓となるように、津波避難訓練など、地域防災力の向上のために取り組んでいる。

【市長】震災の記憶を風化させず、教訓となるように、津波避難訓練など、地域防災力の向上のために取り組んでいる。

【市長】震災の記憶を風化させず、教訓となるように、津波避難訓練など、地域防災力の向上のために取り組んでいる。

【市長】震災の記憶を風化させず、教訓となるように、津波避難訓練など、地域防災力の向上のために取り組んでいる。

【市長】震災の記憶を風化させず、教訓となるように、津波避難訓練など、地域防災力の向上のために取り組んでいる。

【市長】震災の記憶を風化させず、教訓となるように、津波避難訓練など、地域防災力の向上のために取り組んでいる。

【市長】震災の記憶を風化させず、教訓となるように、津波避難訓練など、地域防災力の向上のために取り組んでいる。

【市長】震災の記憶を風化させず、教訓となるように、津波避難訓練など、地域防災力の向上のために取り組んでいる。

【市長】震災の記憶を風化させず、教訓となるように、津波避難訓練など、地域防災力の向上のために取り組んでいる。

【市長】震災の記憶を風化させず、教訓となるように、津波避難訓練など、地域防災力の向上のために取り組んでいる。

【市長】震災の記憶を風化させず、教訓となるように、津波避難訓練など、地域防災力の向上のために取り組んでいる。

【市長】震災の記憶を風化させず、教訓となるように、津波避難訓練など、地域防災力の向上のために取り組んでいる。

【市長】震災の記憶を風化させず、教訓となるように、津波避難訓練など、地域防災力の向上のために取り組んでいる。

【市長】震災の記憶を風化させず、教訓となるように、津波避難訓練など、地域防災力の向上のために取り組んでいる。

【市長】震災の記憶を風化させず、教訓となるように、津波避難訓練など、地域防災力の向上のために取り組んでいる。

【市長】震災の記憶を風化させず、教訓となるように、津波避難訓練など、地域防災力の向上のために取り組んでいる。

【市長】震災の記憶を風化させず、教訓となるように、津波避難訓練など、地域防災力の向上のために取り組んでいる。

【市長】震災の記憶を風化させず、教訓となるように、津波避難訓練など、地域防災力の向上のために取り組んでいる。

【市長】震災の記憶を風化させず、教訓となるように、津波避難訓練など、地域防災力の向上のために取り組んでいる。

【市長】震災の記憶を風化させず、教訓となるように、津波避難訓練など、地域防災力の向上のために取り組んでいる。

【市長】震災の記憶を風化させず、教訓となるように、津波避難訓練など、地域防災力の向上のために取り組んでいる。

【市長】震災の記憶を風化させず、教訓となるように、津波避難訓練など、地域防災力の向上のために取り組んでいる。

【市長】震災の記憶を風化させず、教訓となるように、津波避難訓練など、地域防災力の向上のために取り組んでいる。

【市長】震災の記憶を風化させず、教訓となるように、津波避難訓練など、地域防災力の向上のために取り組んでいる。

【市長】震災の記憶を風化させず、教訓となるように、津波避難訓練など、地域防災力の向上のために取り組んでいる。

【市長】震災の記憶を風化させず、教訓となるように、津波避難訓練など、地域防災力の向上のために取り組んでいる。

【市長】震災の記憶を風化させず、教訓となるように、津波避難訓練など、地域防災力の向上のために取り組んでいる。

【市長】震災の記憶を風化させず、教訓となるように、津波避難訓練など、地域防災力の向上のために取り組んでいる。

【市長】震災の記憶を風化させず、教訓となるように、津波避難訓練など、地域防災力の向上のために取り組んでいる。

【市長】震災の記憶を風化させず、教訓となるように、津波避難訓練など、地域防災力の向上のために取り組んでいる。

【市長】震災の記憶を風化させず、教訓となるように、津波避難訓練など、地域防災力の向上のために取り組んでいる。

【市長】震災の記憶を風化させず、教訓となるように、津波避難訓練など、地域防災力の向上のために取り組んでいる。

【市長】震災の記憶を風化させず、教訓となるように、津波避難訓練など、地域防災力の向上のために取り組んでいる。

【市長】震災の記憶を風化させず、教訓となるように、津波避難訓練など、地域防災力の向上のために取り組んでいる。

【市長】震災の記憶を風化させず、教訓となるように、津波避難訓練など、地域防災力の向上のために取り組んでいる。

【市長】震災の記憶を風化させず、教訓となるように、津波避難訓練など、地域防災力の向上のために取り組んでいる。

【市長】震災の記憶を風化させず、教訓となるように、津波避難訓練など、地域防災力の向上のために取り組んでいる。

【市長】震災の記憶を風化させず、教訓となるように、津波避難訓練など、地域防災力の向上のために取り組んでいる。

【市長】震災の記憶を風化させず、教訓となるように、津波避難訓練など、地域防災力の向上のために取り組んでいる。

【市長】震災の記憶を風化させず、教訓となるように、津波避難訓練など、地域防災力の向上のために取り組んでいる。

【市長】震災の記憶を風化させず、教訓となるように、津波避難訓練など、地域防災力の向上のために取り組んでいる。

【市長】震災の記憶を風化させず、教訓となるように、津波避難訓練など、地域防災力の向上のために取り組んでいる。

【市長】震災の記憶を風化させず、教訓となるように、津波避難訓練など、地域防災力の向上のために取り組んでいる。

【市長】震災の記憶を風化させず、教訓となるように、津波避難訓練など、地域防災力の向上のために取り組んでいる。

【市長】震災の記憶を風化させず、教訓となるように、津波避難訓練など、地域防災力の向上のために取り組んでいる。

【市長】震災の記憶を風化させず、教訓となるように、津波避難訓練など、地域防災力の向上のために取り組んでいる。

【市長】震災の記憶を風化させず、教訓となるように、津波避難訓練など、地域防災力の向上のために取り組んでいる。

【市長】震災の記憶を風化させず、教訓となるように、津波避難訓練など、地域防災力の向上のために取り組んでいる。

【市長】震災の記憶を風化させず、教訓となるように、津波避難訓練など、地域防災力の向上のために取り組んでいる。

【市長】震災の記憶を風化させず、教訓となるように、津波避難訓練など、地域防災力の向上のために取り組んでいる。



三浦市の政策課題とは



三浦市立病院

※越波……荒天時の波浪で、海水が堤防や護岸などの構造物を越えて陸地側に入ること

二町谷への企業誘致

風致地区、学童保育

フォーラムみうら 寺田 一樹

施設についての計画がある。そのほか、工場の進出について交渉中である。

り、また、都市計画マスタープランでは「商業地」として発展を図る地域」とから、今回、解除の方向性を示した。

を上げるべきではないか。**市長** 子ども・子育て支援新制度による改革が、本市の学童保育の運営に資するものであるよう、今後も国の議論を注視し、必要があれば、意見を述べていきたい。

質問 今議会において、二町谷埋立地のうち、二

区画分の土地の売却に関する議案が可決された。今後、残りの区画について

質問 現在、市が進める風致地区の見直しの中で、油壺地区にある市街化調整区域四・五ヘクタールの指定を解除する。

質問 学童保育の指導員は、専門性の高い職であるが、労働条件が悪く、処遇向上の必要性を強く感じている。

平成二十七年から子ども・子育て支援新制度が本格的にスタートする。学童保育を取り巻く環境が転換期を迎える今こそ、関係機関に対し声

経済部長 市内の水産加工業者が進出の意向を示しており、現在、契約に向けた作業を進めている。

また、みうら漁協と民間企業との共同事業である海上釣り堀に関連して、二町谷の土地を活用した

都市環境部長 当該地域は、観光施設等が立地するなど、良好な風致環境が喪失している状況である。

市街化調整区域は市街化を抑制すべき区域であり、風致地区の指定を解除する必要はないのではないか。

市街化調整区域は市街化を抑制すべき区域であり、風致地区の指定を解除する必要はないのではないか。



二町谷埋立地

恒久平和の理念継承

施設の存続、肺炎球菌ワクチン

日本共産党 立本 眞須美

質問 市長は、北朝鮮の核実験への抗議文や平和を求める諸団体へのメッセージを通して、恒久平和の理念を日常の市民生活に生かし、子々孫々に継承する意思を表明している。

現在、国では、戦争放棄をうたっている憲法第九条の改正が議論されている。平和を願う市長の考えとは相入れないものではないか。

質問 市は、勤労市民センターを平成二十六年三月末に廃止する方針を打ち出した。

その後、勤労市民センターの利用団体が施設の存続を求めて市と協議を重ねた結果、市は協議の継続中は施設を閉鎖しないと回答している。

市は施設の閉鎖を強行しないことを、改めて確認したい。

市長 恒久平和の理念を揺るがすような改正が

市長 今後も利用団体等と協議を重ねていく考え

に変わりはなく、平成二十六年三月までに協議が調わない場合でも、強引に施設を閉鎖する考えはない。

近隣市・町の取り組み状況を見ながら、行政間の格差が生じないように判断していきたい。

保健福祉部長 高齢者の肺炎球菌ワクチン接種に

公費助成の実施

質問 高齢者の肺炎球菌ワクチン接種の約半数は肺炎球菌が原因とされているが、ワクチン接種をすることで肺炎球菌による感染症の八〇%以上を予防することができる。

ワクチン接種に対する公費助成の実施を求めるが、いかがか。



勤労市民センター

フェイスブックの導入

市政への参画、観光振興

みうら市政会 石川 巧

※は欄外に説明を記載

収集を行っている。今後さらに研究を進め、セキュリティの問題や運用方法等について調整を行い、実現に向けた検討をしていきたい。

はどうか。**市長** より多くの市民と対話する機会の受け皿としてのフューチャーセンターに関する提案については、手法や事例を研究し、検討していきたい。

誘導サイン等の整備にどう取り組んでいくのか。**市長** 外国語表示の誘導サイン類の整備は、優先して取り組むべき事項であると考えている。

質問 若年層の市政への関心を向上させるためには、現状の広報の仕方では効果が薄いと考える。

質問 三浦市では、市民が市政に参加する場として「みうらトーク&トーク」があるが、これをさらに発展させた市民協働の場づくりが必要だと考える。

質問 本年二月に、城ヶ島がミシユラン・グリーンガイドで二つ星に選ばれたことで、外国人観光客誘致の可能性が大きくなった。

市単独で誘導サイン類を充実させることは厳しいので、県や民間事業者の協力を仰いで実現させたい。

市長 現在、フェイスブックを含む SNS の情報

新たな手法として、千葉県柏市等で導入しているフューチャーセンターの取り組みを取り入れて

外国人観光客をもてなすための

の選定等の問題はありますが、三浦市が丸となった防災訓練という視点から、検討すべき課題だと認識している。担当課において具体的な検討をしていきたい。

本市でのフェイスブック導入の可能性は。

観光の核づくり、総合防災訓練

日本語・外国語併記の案内看板

日本語・外国語併記の案内看板

人口減少への対応策

観光の核づくり、総合防災訓練

フォーラムみうら 出口 正雄

質問 市長は三期目の当選後、さまざまなメディアから取材を受け、抱負を語っている。

その中では、人口減少への対応として、鉄道事業者等との連携を強化すると言われているが、具体的な対策を伺う。

質問 民間企業の動向

質問 総合防災訓練

市長 転入・転出者に対するアンケートの結果から、通勤・通学の利便性を向上させることが重要であると認識している。

認定後、地元の城ヶ島区や観光協会は、シンポジウムやイベントを開催するなど活発に活動を行っているが、民間企業の具体的な動きが見えてこないのは、なぜか。

市全体での訓練

まずは鉄道事業者等に対して、協議の場の設置

訓練は、三崎、南浦、初声の三地区を順番に会場として、年一回行われているが、何年か一度、市全体を対象とした訓練はできないか。



総合防災訓練

※ SNS (social networking service) ……インターネット上で、社会的ネットワークを構築するサービス
※フューチャーセンター …… 様々な参加者を集めて、対話を通じて、新たなアイデアや問題解決の手段を見つけ出すための場

駅前での観光案内

観光ボランティア、放置車両
日本共産党 石橋 むつみ

を、観光案内所として駅前に移すことが必要だと考える。

具体的な場

質問 三浦市観光インフォメーションセンターは三浦海岸の国道沿いにあるが、電車等を利用して三浦市に訪れた場合、存在に気づかない方も多

後継者の養成

また、市民からも、インフォメーションセンターがどうして駅前にならないのかと聞かれる。すぐに案内所を駅前に置くことは難しいと思うが、ぜひ検討していただきたい。

市長 インフォメーションセンターの機能の一部

経済部長 養成講座は、

三崎漁港、市場の整備

うみぎょうプレイス、三高跡地
みうら市政会 石原 正宣

列エリアの仕切り構造化及び手洗い場の整備を予定している。

質問 三崎漁港について

は、平成二十三年度に高度衛生管理基本計画書(案)が作成された。

この中では、安全で安心な水産物を提供するべく、港機能と市場機能の改善案が示されたと聞くが、その内容は。

経済部長 港機能については、市場前の岸壁のひ

さし、排水対策及び駐車場の整備を予定している。また、市場機能としては、長靴の消毒槽、車両消毒槽、冷凍マグロの陳

五月から七月までに全四回開かれ、その内容は三浦市の自然や産業等を学ぶといったものであった。講座の修了者は五名で、いずれも、みうら観光ボランティアガイド協会への加入が見込まれている。

早期撤去を

質問 県道二百十五号沿いの放置車両の撤去について

は、これまで何度か質問をしてきたが、余り変化がないように感じる。現在の取り組み状況は。

都市環境部長 所有者が判明した車両については、横

須賀土木事務所、三崎警察署、三浦市の連名で、所有者に対し、早急に移動するよう通知するなど



観光インフォメーションセンター

情報発信の充実

三浦ファンの集まりを
フォーラムみうら 北川 年一

※は欄外に説明を記載

質問 三浦市の魅力を発信するということに向け

た新たな取り組みについて、市長の考えがあれば伺いたい。

市長 従来からシティ・セールスに注力しているが、現在は、市民の皆さんに三浦の魅力を発信してもらおう取り組みとして、「三浦自慢」を提唱して

いる。具体的には、広報紙や市公式ホームページ等で、三浦自慢の投稿の呼びかけや、特集記事の掲載を行っている。

次のステップとしては、市による地域SNSの導入等で、市民の皆さんが情報

を受発信できる仕組みを研究していく考えである。

質問 「みうらファンクラブ」

吉田市長にとって

今回の任期四年間は、ホップ、ステップ、ジャンプのジャンプになる。その一つの成果として「みうらファンクラブ」というものを具体化させ、三浦市の魅力を発信することを提案したい。

例えば、三浦市から輩出したアスリートや囲碁のプロ棋士、東大の三崎

臨海実験所の方などにファンクラブに入っていた

民による自由度の高い情報発信を充実させること

が、これからの三浦市にとって大事なことだと考えるが、市長の考えは。

市長 市の魅力を広く発信する効果的な取り組みとして、この手法は、大変いい提案だと思



「まちカル」イベントの様子

三浦市の観光振興

災害救援ボランティア、風致地区
日本共産党 小林 直樹

り起こしの必要性は認識している

質問 地域の観光資源を

整理し、地域の魅力と特性を生かした観光振興の方法として、エコツーリズムが各地で取り組まれている。

三浦市でも、市内に多くある観光資源を整理し、エコツーリズムの推進を図ってはどうか。

市長 地域の自然や歴史、文化を対象とするエコツーリズムは、観光振興に有効な手段だと考える。

市内の貴重な観光資源の整理や新たな資源の掘

災害に備えて

質問 阪神・淡路大震災

や東日本大震災では多くのボランティアが活動し、被災地の人々の生活再建などに貢献している。

平常時から、市内の災害ボランティア団体や個人が連携をとっておくことが必要だが、ネットワークを組織化することについて、考えを伺いたい。

市長 災害時にボランティア活動を活発に行うためには、ネットワーク化

は当然必要なことだと思

致地区の見直しは、市の重点テーマの一つとして位置づけられている。

密接に関連する部分が多く、スケジュールの

も同時並行で進むことから、連携・調整を図り、しっかりと取り組みたい。

現在、三浦市では景観計画を策定しているが、良質な景観を維持し、形成していくことと、風致地区の指定解除は相反するのではないか。

都市環境部長 景

観計画の策定と風



三崎水産物地方卸売市場



三浦市の自然を楽しむ

※地域SNS (social networking service) ……インターネット利用による、地域向けの交流・情報提供サービス

※まちカル ……「まちごとカルチャー」から成る造語。三浦の町に「生きがい」と「にぎわい」を生むための取り組み

安全で快適な海水浴場

小網代の森、防犯
みうら市政会 出口 眞琴

海水浴場の開設期間中は、神奈川県や県警などと連携してパトロールを行うなど、

十五年度では、約八百メートルの園路整備と、傾斜がきついルートへの階段の設置、標識や案内板の設置が計画されている。

犯罪のないまちづくり

先日、小学生が路上で男に顔を殴られ重体となつていふという事件がニュースで伝えられた。

市内でも、

傷害事件や振り込め詐欺、空き巣等が発生している。犯罪の未然防止のため、

市としてどのような取り組みを行う



にぎわう海水浴場

地域農業の振興策

教育旅行、二町谷埋立地
みうら市政会 草間 道治

いる中で、三浦市農協が横浜中華街で三浦野菜のPRをする機会を得ており、販

路開拓の一つとして期待している。

誘致の取り組み
現在、市の営業開発課では教育旅行の誘致に取り組み、着実に成果を上げている。

市内での経済効果や、三浦市を訪れた学校からの感想はどうだったのか。

平成二十三年からの三年間で三十一校を誘致し、直接経済効果は約三千六百万円だった。おいでいただいた学校

からは、急な要望にも応えてくれたなど好意的な感想が寄せられることも

に、生徒からも、料理がおいしく、レクリエーションも盛り上がったとい

った感想が寄せられている。二町谷や市場など、さまざまな面から三浦市発展のために努力したい。

二町谷が活用されることを期待する。

六次経済の実践は、市の総合計画でも大きなテーマとして打ち出している。二町谷や市場など、さまざまな面から三浦市発展のために努力したい。



三浦野菜のPRを

三崎魚市場の役割

漁協の経営強化、観光資源
フォーラムみうら 松原 敬司

漁協の収入増
現行の市場条例の

最大の欠陥は、漁業者が漁獲物の値段を決められない、つまり仲買人の入札に委ねなければならぬ

漁協(漁業協同組合)が沿岸物の荷受けを行い、三崎魚市場で競りに出したり、中央卸売市場等に

出荷したり、直販を行えるような体系を確立することが必要ではないか。

漁協が魚価の安定や向上に努めることは、漁協自体の経営力を高めることにもなる。漁協が、

最大の欠陥は、漁業者が漁獲物の値段を決められない、つまり仲買人の入札に委ねなければならぬ

漁協(漁業協同組合)が沿岸物の荷受けを行い、三崎魚市場で競りに出したり、中央卸売市場等に



漁業経済の中心 三崎漁港

三浦市の子育て支援

新中学校スタート、跡地の利用
みうら市政会 神田 眞弓

も・子育て支援事業計画を策定する際など、さまざま

な事項に関して審議を行う。

②一園で病後児保育を実施することを目指しているが、子ども・子育て支援法による制度変換期であること等から、まだ

相談を持ちかける段階には至っていない。

校歌等の公表は
新三崎中学校の校歌、校章、制服などは、どの程度まで決まったのか。また、これらを公表する方法をお聞きしたい。

校歌は、完成した詞に教員が曲をつけ、

夏休み前に完成の予定であり、校章は既に完成している。制服は、基本デザインを生徒や保護者にお知らせしたが、ボタンなどを調整している。



三崎中学校 校舎

可決した意見書(概要)

神奈川県最低賃金改定等に関する意見書

我が国では、所得の低迷や格差拡大に歯止めがかからず、非正規労働者の増加や年収200万円以下で働く労働者数も1,100万人近くに及んでいる状況にある。また、生活保護基準の引き下げもあり、地域別最低賃金制度の役割はますます重要になってきている。

一方、特定(産業別)最低賃金は、当該産業の労働条件の向上や公正競争の確保の観点から、地域別最低賃金より高水準の確保が必要とされているが、近年、改定に至らないケースが発生している。

よって、次の事項について特段の配慮をされるよう強く要望する。

- 1 神奈川県最低賃金の諮問・改定を早期に行うこと。
- 2 地域別最低賃金の改定に当たっては、「生活保護との整合性」を図る観点から、生活保護との乖離解消を実現すること。
- 3 特定(産業別)最低賃金については、地域別最低賃金より高い金額水準の必要性を認め、関係労使の主導により設定し、必要性審議は、当該産業の労使が参加する審議方法を適用すること。

〈提出先〉内閣総理大臣、総務大臣、厚生労働大臣、神奈川労働局長

少人数学級の推進、義務教育費国庫負担2分の1復元を求める意見書

現在、教育現場では、新しい学習指導要領による授業時数・指導内容の増加に加え、日本語指導などを必要とする子供たちや障害のある児童・生徒への対応が課題となっており、いじめ、不登校等、生徒指導の問題も深刻化している。これらの問題解決には一人一人の子供に対するきめ細かな対応が必要であり、計画的な教職員定数の改善が求められている。

また、教育予算については、三位一体改革により義務教育費国庫負担制度の国の負担割合が2分の1から3分の1に引き下げられて以降、教育予算が地方公共団体の財政を圧迫し、教育条件の格差も生じている。

よって、国においては、次の措置を講ずるよう強く要望する。

- 1 豊かな教育環境を整備するため、学級規模を30人以下とすること。
- 2 教育の機会均等と水準の維持、向上を図るため、義務教育費国庫負担制度の国負担割合を2分の1に復元すること。

〈提出先〉内閣総理大臣、総務大臣、財務大臣、文部科学大臣

決算審査特別委員会

七月十六日の本会議において、七名の委員で構成する「平成二十四年度三浦市決算審査特別委員会」が設置され、公営企業会計の決算議案(病院・水道)が付託されました。同日に開かれた委員会では、両議案について閉会中の継続審査とすることに決しました。

この二議案は、九月定例会に提出される一般会計及び特別会計の決算議案とあわせて審査をしていくこととなります。なお、公営企業会計決算は、地方公営企業法で

「当該事業年度終了後三ヶ月を経過した後において最初に招集される議会の認定に付さなければならぬ」と規定されていることから、今回の定例会に提出されたものです。

決算審査特別委員会

- 委員長 神田 眞弓
副委員長 寺田 一樹
委員 立本 眞須美
松原 敬司
出口 眞琴
草間 道治
藤田 昇

議会の活動から

▼市役所若手職員との懇談会を実施しました

七月定例会の最終日に、議員と職員とのコミュニケーションの充実を図ることを目的に懇談会が開催されました。

今回は、議員八名と職員十名が参加し、三浦市のご当地キャラクター「三浦ツナ之介」の活用方法をテーマに意見交換が行われました。

懇談会はティーミーティング形式で行なわれ、終始和やかな雰囲気の中で、自由な発想に基づき

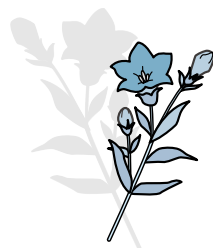


様々な提案がされました。なお、これらの提案は「三浦ツナ之介」の活動母体である三浦商工会議所に報告されることになりました。(左記イラストが「三浦ツナ之介」です。)

人事

七月二十五日をもって任期満了となる副市長について、現在の杉山副市長を引き続き選任するための議案が提出され、原案のとおり同意することに決しました。

副市長
杉山 実氏



ホームページのご案内

三浦市議会のホームページでは、定例会の日程や議案の審議結果、提出した意見書、会議録の閲覧・検索など、議会に関する情報がごらんいただけます。

三浦市議会のホームページは



(三浦市議会トップページ)



(会議録検索システム)

神奈川県市議会議長会

今年四月に行われた神奈川県市議会議長会の定例会において、三浦市議会の岩野匡史議長が、本会の会長に就任しました。県内の十九市議会の正副議長で構成されている本会は、市議会の制度・運営に関する調査・研究や、自治体間の交流・情報交換などを目的に活動しています。今回の会長就任で、来年四月までの一年間、会議の開催や県内の市議会議員及び議会事務局職員を対象とした研修会の実施など、本会の運営に携わることになります。また、県内の十九市議会を代表して、全国市議会議長会や関東市議会議長会が主催する会議に出席し、都市の発展に向けた意見交換や、必要に応じて関係団体への要望活動を実施していく予定です。



会長就任のあいさつをする岩野議長

